

# 令和 8 年度 徳島森林管理署の重点施策

令和 8 年 4 月

徳島森林管理署

# 1. 地域の安全・安心を守る山地防災力の強化

- 台風、豪雨等の自然災害から地域の安全・安心を守る治山事業を実施（令和8年度 5か所 3.5億円）
- また、民有林内での大規模な地すべり等についても国で対策事業を実施（令和8年度 6か所 4.6億円）

## ■ 令和8年度 治山事業実施箇所図



直轄地すべり防止事業



### 国有林治山事業

【 治山事業による事前防災効果例 】

治山対策実施前 全景



治山対策実施後 全景



荒廃溪流への谷止工 設置状況



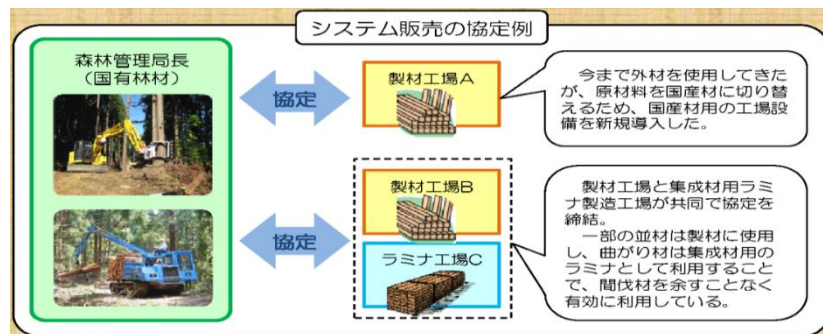
斜面崩壊 復旧状況



## 2. 国有林材の安定供給

- 森林整備により得られた丸太を販売する「製品販売」や人工林等を立木のまま販売する「立木販売」の強化等により国有林材を安定供給
  - ・令和8年度：71.2千 $m^3$ (製品 7.3千 $m^3$ 、立木 63.9千 $m^3$ )
- 立木販売を抜本強化
  - ・ 年間の立木販売予定情報の公表
  - ・ 立木販売と造林の混合契約の推進

### ■ 国有林材の安定供給システム販売の仕組み



※ システム販売の対象は、製品(丸太)と立木。協定の相手方は、製材工場、木材加工業者、原木市場、素材生産業者等。

### □ 徳島森林管理署の国有林材の供給量

(単位：千 $m^3$ )

	R4	R5	R6	R7	R8(計画)
製品販売	6.1	3.8	9.2	6.5	7.3
(うちシステム販売)	5.9	3.7	7.2	6.0	4.7
立木販売(立木材積)	3.6	2.0	5.9	1.7	63.9



木材生産現場(三好市東祖谷)



現場で集積された木材

### 3. 民国連携と林業技術の普及

- 市町村林務担当者、民有林関係者等を対象に、民有林と国有林が一体となった路網整備・相互利用、協調施業等を推進することで、担い手確保等の課題解決に取り組む。
- 市町村林務担当者、民有林関係者等を対象に、新たな森林技術、低コスト林業等に関する「現地検討会」を開催し、得られた成果を民有林への普及に反映させていく。

#### ■ 令和8年度 現地検討会開催予定

期 日	内 容	場 所
令和8年10月頃	効率的なシカワナの設置方法等の検討会	霧谷国有林(東祖谷)



複層林における獣害対策の現地検討会



ICT機器測量現地検討会



DSM・空中写真を活用した図面作成講習

## 4. 森林・林業を担う人材育成への支援

- 林業現場の即戦力となる担い手を養成する、とくしま林業アカデミー及び三好林業アカデミーの現地研修等に対して講師派遣等の支援を実施
- 那賀高校、池田高校三好校への森林環境教育や、各森林・林業関係高校生及び大学生のインターンシップの受入れを実施



ドローン操作実習(とくしま林業アカデミー)



GNSS測量実習(三好林業アカデミー)



森林調査実習(那賀高校)



大学生へのインターンシップ

## 5. 子供たちへの森林環境教育の実施

- 身近な生活の中での木材利用を推進していくため、次世代を担う子供たちを対象に、保護者や教育関係者のニーズを反映したプログラムによる森林環境教育に取り組む。



とくしま木づかいフェア



小学校での森林教室



保育園での森林教室

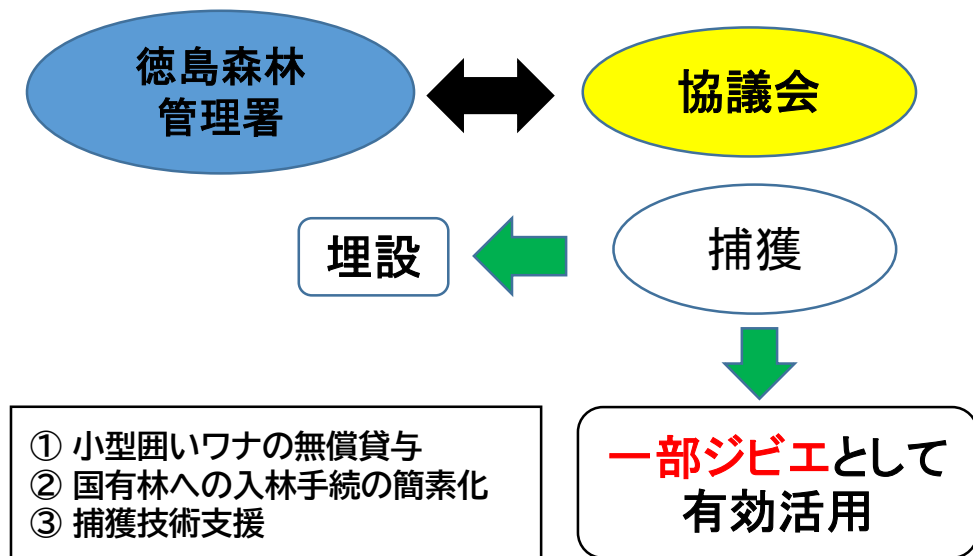


手作りの木工品

## 6. 地域との協定締結によるシカ被害対策の推進

- 徳島森林管理署の職員による捕獲(令和7年度:31頭捕獲)
- 平成29年より、南つるぎ地域活性化協議会<sup>※</sup>と締結した「シカ被害対策推進協定」に基づきシカを捕獲駆除(令和7年度:4頭捕獲)
- ボランティア団体等と連携し、防鹿ネットの増設、既設ネットの保守・点検による植生保護の取組を実施  
引き続き、これらの取組を推進

### ■シカ被害対策推進協定



職員によるシカ処理状況



小型囲いワナによる請負でのシカ捕獲



ボランティア団体による防鹿ネット設置

※ 南つるぎ地域活性化協議会は、剣山南西地域の環境保全と地域の活性化を目的に山に関わる団体等をメンバーとするボランティア団体

## 7. 「祖谷のかずら橋シラクチカズラ資源確保プロジェクト」の推進

- 平成30年2月に徳島森林管理署、香川大学農学部、三好市が締結した「シラクチカズラ資源確保と活用推進連携協定」に基づき、三者が相互に連携し、地域の「木の文化」の象徴である祖谷のかずら橋、奥祖谷の二重かずら橋の架け替え資材であるシラクチカズラの資源確保とその果実の活用に向けた取組を展開する。
- 令和5年度は、①三好市国有林内のシラクチカズラ植栽箇所の生育調査、②中学生を対象とした香川大学農学部シラクチカズラ研究所の視察、③「全国木橋サミット2023in三好」の開催（基調講演、パネルディスカッション、中学生による事例発表）等の活動を実施。  
令和8年度には、シラクチカズラ植栽箇所の成長調査にあわせ、新たな苗木づくりについて検討する。



シラクチカズラ保存の植栽式



シラクチカズラ苗木づくり



シラクチカズラの植生調査

## 8. 観光資源としての発信「日本の美しい森～お薦め国有林」

- 「日本の美しい森～お薦め国有林」である剣山自然休養林は、平成29～30年度に東屋等を整備、令和4年度には外国人観光客向けに、国有林からの祖谷のかずら橋への資材提供を紹介した英語版パンフレットを観光協会に配布
- 剣山自然休養林の観光資源としての活用を推進するため、関係機関、団体との連携を図り、観光資源としての利用に向けた各種活動に取り組む。
- 林野庁ホームページに「剣山自然休養林」の動画配信

[https://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu\\_rinya/kokumin\\_mori/katuyo/reku/rekumori/tsurugisan.html](https://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu_rinya/kokumin_mori/katuyo/reku/rekumori/tsurugisan.html)



かずら橋の英語版パンフレット

